

令和4年2月吉日

PTA会員の皆様

川崎市立富士見台小学校PTA
会長 松本 浩
成人教育委員会 稲子 美沙子

第2回家庭教育学級だより

新たな年を迎え、今年こそはコロナが終息し、子供たちののびのびとした姿がみられることを祈るばかりですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。



先日、第2回家庭教育学級をオンラインにて開催いたしましたことをご報告いたします。本年度第2回家庭教育学級は、12月4日(土)宮前市民館の一室をお借りして行いました。講師の古賀先生は三重県から、また担当者は各自宅からリモートにて参加し、オンライン開催ならではの家庭教育学級となりました。

テーマ : 「親子で学ぶSDGs～プラなし生活、できる事から始めよう」

ライブ配信: 令和3年12月 4日(土)午前10時～12時

アーカイブ: 令和3年12月10日(金)～18日(土)



第2回家庭教育学級では、ウェブサイト『プラなし生活』を運営されている古賀陽子さんを講師にお迎えして、プラスチックによる海洋汚染の現状と、暮らしの様々な場面で活かせる「プラスチックを使わない生活のヒント」をお話いただきました。

『プラなし生活』 <https://lessplasticlife.com/>

【参加希望者への事前アンケート】



- ・ライブ配信参加者 : 32名
- ・録画映像視聴希望者: 40名
- ・視聴回数 : 76回

〈参加希望者に行ったアンケートの内容はA～Cの3つです。〉

A. 家庭でプラスチックごみを減らすための工夫をされていますか？

- ・マイバック、マイボトルの持ち歩き
- ・飲み物はペットボトルではなく紙パックの商品を選ぶようにする。
- ・調味料は瓶のものを選ぶ
- ・精肉、魚は食品トレイではなくビニールに入っているものを選ぶ
- ・ラップの代わりにシリコンケースや蓋付きの器を使う
- ・詰め替えのできる洗剤を使用している。



→皆さん買い物の際に使ったあとのことを考えて買われているんですね。

B. 普段の生活の中で「プラスチックを無駄に使っていると感じる場面」「減らしたいけど減らせないプラごみ」などあれば教えてください。

- ・食品トレー
- ・食品の過剰包装
- ・ラップ → 家庭で出るプラスチックごみのほとんどが食品から出るものです。

C. 講師の方への質問

- ・家庭で分別して出したゴミは回収されたあとのようになっているのか知りたい。
- ・プラごみを減らせる工夫を教えてください。
- ・消費者として企業に働きかけるにはどのようなアクションがあるか。

▶ アンケートの結果から生活の中でプラスチックごみを減らしたいけど減らせないとストレスを感じていることが伺えました。

皆さんの質問、疑問を受けて先生から普段の生活の中でプラスチックごみを出さない、プラスチックを使わないようにするアイデアを教えてくださいました。

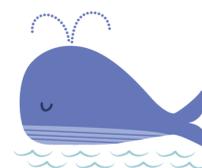


【 講座で紹介されたプラなしアイデア～キッチンから見直す～ 】

ラップ	食器洗いスポンジ	生ごみ処理
→みつろうラップ 再生利用可能なみつろうラップにすることで、プラごみを大幅に減らす	→天然素材のタワシや布巾へ ヘチマや100%自然由来成分のスポンジに変える事で、長持ちするメリットなども	→新聞紙で作るごみ袋 生ごみの匂いや汁気などを吸い、捨て易くなる
		

【 古賀先生おすすめ参考図書 】

- 海洋プラスチック汚染「プラなし」博士、ゴミを語る 中嶋亮太(著)
- 海のごごれは、みんなのごごれ 海洋ゴミ問題を考えよう<全3巻>
中嶋亮太(監修)、ララ・ホーソーン(著、イラスト)
- ゼロ・ウェイスト・ホームーゴミを出さないシンプルな暮らし
ベア・ジョンソン(著)



- プラスチック・フリー生活 今すぐできる小さな革命

シャンタル・プラモンドン(著)、ジェイ・シンハ(著)



【参加者のみなさんからのご意見】



プラごみがいかに海洋生物に悪影響を与えているかを知り、プラに対する意識が変わりました。

日常生活でプラごみを出さない方法を簡単に始められることも教えていただき、早速実践していきたいと思います。



肩肘をはずずに環境問題と向き合っている姿勢が、話し方にもあらわれていて、とてもわかりやすく聞きやすい講演でした。

子供と一緒に講座を受けて、環境問題やプラなし生活について話す、良い機会になりました。



【感想】

講義内容はプラスチックごみによる海洋汚染の現状、リサイクル率の現状をデータで提示されながらお話し頂き、日本のプラスチックごみに対する意識の低さを知ることができました。

問題となるマイクロプラスチックの出どころは、家庭からであるならば私達ができることを知る必要があります。先生が生活の中で実践されている①キッチン②掃除③外出先などシチュエーションごとにアイテムをご紹介していただきました。

また、ワークショップでは新聞紙で作るゴミ袋をみんなで作りました。生ゴミの水分を吸ってくれる新聞紙のゴミ袋は、新聞紙の再利用とともにわざわざゴミ袋を買う必要のない節約アイテムです！

最後に皆さんからの質問に答えていただきましたが、中にはお子さんから「溶けてなくなるプラスチックはありませんか」「プラスチックを食べる細菌が発見されたと聞きました」など質問があり、家庭での取り組みが子どもたちへの関心につながることに実感しました。

